

航空自衛隊仕様書		
仕様書の種類	内容による分類	装備品等仕様書
	性質による分類	共通仕様書
物品番号		仕様書番号
品名 又は 件名	整備技術利用共通仕様書	C & L P S - Y 0 0 0 1 0 - 3
		大臣承認 平成 年 月 日
		作成 平成 2 3 年 2 月 8 日
		改正 令和 3 年 4 月 1 日
		令和 6 年 3 月 2 1 日
作成部隊等名	補給本部	

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊において使用する装備品等の整備に関し、装備品等の製造及び修理を行う者（以下、“会社等”という。）の専門的技術を部隊等において利用することを目的とする役務（以下、“整備技術利用”という。）の共通事項について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の 1.2 によるほか、次による。

1.2.1

駐在技術員

整備技術利用に関する契約に基づき、部隊等に常駐して役務を行う会社等の技術員

1.2.2

臨時技術員

整備技術利用に関する契約に基づき、必要の都度、部隊等又は官側が指定した場所において役務を行う会社等の技術員

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 仕様書

C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品等一般共通仕様書

b) 法令等

航空自衛隊の立入制限場所への立入手続等に関する達（昭和 5 7 年航空自衛隊第 5 号）

2 役務に関する要求

2.1 駐在技術員及び臨時技術員の業務範囲

駐在技術員及び臨時技術員（以下、“技術員等”という。）の業務範囲は、次による。

- 部隊等での不慣熟な作業についての援助
- 事故又は不具合事項の原因の調査及びその対策立案に関する援助
- 部隊等から要請があった場合、必要に応じ、契約の相手方の対策、見解等の提示

品名	整備技術利用共通仕様書
----	-------------

d) その他整備技術利用に関し、監督官が必要と認めて契約の相手方に通知した事項

2.2 技術員等の資格

技術員等は、2.1 に関する知識、技能及び経験の豊富な者とする。

2.3 技術員等の改善

契約の相手方は、契約担当官等から技術員等の改善を求められた場合は、必要な処置を講じなければならない。

なお、契約の相手方の都合により技術員等を一時帰社等させる場合は、契約担当官等と調整する。

2.4 役務の実施

契約の相手方は、個別仕様書にて要求した事項、必要に応じて契約担当官等が交付する様式1に示す役務通知書及び具体的に役務の通知を行う場合に監督官が交付する様式2に示す細部役務通知書・役務確認書により役務を実施する。

3 その他の指示

3.1 技術員届

契約の相手方は、様式3に示す駐在技術員又は臨時技術員届（以下、“技術員届”という。）を役務の実施前までに契約担当官等へ3部提出し、確認を得る。

なお、技術員等に交代が生じる場合は、技術員届に“（変更）”と追記し、速やかに契約担当官等へ3部提出し確認を得る。

3.2 立入制限場所への立入り

部隊等の長が定めた立入制限場所へ立入る必要がある技術員等は、航空自衛隊の立入制限場所への立入手続等に関する達の定めるところにより、立入りを許可された者でなければならない。

品名	整備技術利用共通仕様書
----	-------------

様式 1

令和 年 月 日					
<p>殿</p> <p style="margin-top: 20px;">契約担当官等</p> <p style="margin-top: 20px;">役 務 通 知 書</p> <p style="margin-top: 20px;">整備技術利用契約(契約番号： 号 令和 年 月 日)に基づき、 次のとおり通知します。</p>					
役務通知番号	(令和 年 月 日)				
役務提供場所					
役 務 規 模	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; padding: 5px;">人 数</td> <td style="padding: 5px;">名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">期 間</td> <td style="padding: 5px;"> 令和 年 月 日 ~ (間) 令和 年 月 日 </td> </tr> </table>	人 数	名	期 間	令和 年 月 日 ~ (間) 令和 年 月 日
	人 数	名			
期 間	令和 年 月 日 ~ (間) 令和 年 月 日				
役 務 内 容					
備 考					

注記 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

品名	整備技術利用共通仕様書
----	-------------

様式 2

細部役務通知書・役務確認書								
細 部 役 務 通 知 書	会社等名			令和 年 月 日				
	代表者名			監督官 部隊等名 階級氏名				
	次の整備技術利用契約又は次の整備技術利用契約に関する役務通知書 ^{a)} に基づき、次のとおり通知します。							
	契 約 内 容	契 約 番 号		契 約 年 月 日		役 務 通 知 番 号		
	契 約 年 月 日				役 務 通 知 番 号			
	契 約 年 月 日		契 約 年 月 日		役 務 通 知 番 号			
	契 約 年 月 日		契 約 年 月 日		役 務 通 知 番 号			
役 務 通 知 事 項								
役 務 確 認 書	月	日	時 間	役 務 内 容	氏 名	直 接 工 間 接 工 の 区 分	実 績 工 数	備 考
	上記を確認した。							
	監督官 部隊等名 階級氏名							

注記 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

注^{a)} 次により使用する。

- －役務通知書に基づく場合は、“次の整備技術利用契約”を抹消する。
- －役務通知書に基づかない場合は、“次の整備技術利用契約に関する役務通知書”を抹消する。

品名	整備技術利用共通仕様書
----	-------------

様式 3

令和 年 月 日

契約担当官 殿

会社名

駐在技術員又は臨時技術員届^{a)}

整備技術利用契約（契約番号 号令和 年 月 日）（役務通知書（通知番号 号令和 年 月 日））^{b)}に基づく駐在技術員又は臨時技術員^{a)}を次のとおり届け出ます。

No	氏名	年齢	地位及び職務内容	直接工 間接工 の区分	資格・ 免許・ 特技等	駐在技術員又は 臨時技術員 ^{a)} と しての経験の有 無，役務先，回 数，内容等	前歴等

上記を確認しました。

令和 年 月 日
契約担当官等

注記 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

注^{a)} 駐在技術員に関わる場合は“臨時技術員”を、臨時技術員に関わる場合は“駐在技術員”を、抹消して使用する。

注^{b)} 役務通知書が交付されていない場合は、“（役務通知書（通知番号 号令和 年 月 日））”を抹消して使用する。